



妻沼中キャラ めにしちゃん

# 学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を  
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校  
電話 048(588)1361  
FAX 048(589)0496  
令和8年6月1日  
第6号

## 幡羅高等小学校の「家庭心得」～その3

校長 清水 利浩

本校の学区である弥藤吾の観清寺に、かつて幡羅高等小学校があり、明治31年(1898)4月に、生徒保護者あてに出した通知「家庭心得」があります。その始めに、家庭と学校、地域社会が一緒になり、子育てをするという、「生徒保護者への御注意」が示されています。

(口語訳)「拝啓 ことわざにも、『教育は、家庭の教えて芽を出し、学校の教えて花が咲き、社会の教えて実を結ぶ』とありますので、学校と家庭とは、常にその方向を同じくし、お互いに力をあわせて、幼い子を社会の悪い風習に染まらせないようにしたいものです。そこで次にあげます一つ一つのことを、毎日お心がけください。明治31年4月 幡羅高等小学校 生徒保護者各位御中」

この前文に続いて、ご家庭での子育てについて、22の項目があげられています。今回は、その1つ目(学校教育の目的)を紹介します。

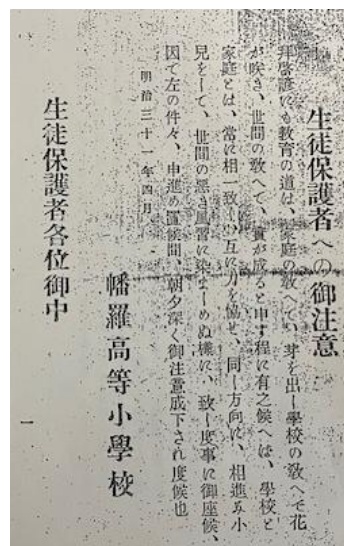
一、学校教育の目的は、今さら申し上げるまでもなく、ただ、国語や算数などを教えるだけではなく、国や郷土を愛し、親孝行をし、兄弟姉妹仲良くするなど人格の完成を目指すものです。

ここで妻沼西中学校の今年度の教育方針を紹介させていただきます。

- ① 本校は、明治期の幡羅高等小学校の教えを学校教育に生かし、全教職員の共通理解と協力体制のもと、創意工夫を生かして、学校教育目標の実現を目指す教育活動を展開していきます。
- ② 不透明な時代を生きる子どもたち自らの可能性と学びの伸長を実感でき、主体的に『学び続けること』こそが価値であることを共有できる教育活動を展開していきます。

明治31年(1898)は、今から128年前のことですが、ここに書かれていることは、今の学校教育にも、変わらず大切なこと(「不易」)であると考えます。また、現在の教育改革(「流行」)にも、高い感受性を持ち、学校教育を推進してまいります。是非とも、「家庭心得」にありますように、学校と家庭、地域が常にその方向を同じくし、お互いに力をあわせて、本校の教育活動に協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

<参考> ○ その1とその2(令和7年度の本校の『学校だより』第10号、及び第27号)は、右のQRコードからご覧いただけます。本校のホームページにも掲載いたしました  
○ 幡羅高等小学校についての詳細も、このQRコードからご覧ください。  
○ 口語訳など多くの部分で、野原 晃先生著「『幡羅高等小学校』の教育に学ぶ」平成23年発行を参考にさせていただきました。



# 学校生活の様子



【開会式】  
赤組団長・青組団長がそれぞれ選手宣誓を堂々としてくれました。



【綱引き】  
力を一つに合わせて思い切り綱を引きました。みんな一生懸命でした。



【大縄跳び】  
回し手と跳ぶ生徒が声を掛け合って最高記録を目指して頑張りました。



【西中ばん馬リレー】  
生徒が、ばん馬に見たてた板に座り、運び手が協力して走って運びました。



【全員リレー】  
クラス対抗で行いました。全員がリレーをつないで走り切りました。



【部活動対抗リレー】  
運動部、文化部の生徒たちが趣向を凝らしてリレーを行いました。

※是非、妻沼西中学校ホームページをご覧ください。  
右のQRコードから見るができます。

